

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成28年12月22日 (2016.12.22)

【公表番号】特表2014-511854(P2014-511854A)

【公表日】平成26年5月19日 (2014.5.19)

【年通号数】公開・登録公報2014-026

【出願番号】特願2014-503131(P2014-503131)

【国際特許分類】

C 0 7 D 237/14 (2006.01)

C 0 7 D 401/04 (2006.01)

A 0 1 N 43/58 (2006.01)

A 0 1 P 13/00 (2006.01)

【F I】

C 0 7 D 237/14 C S P

C 0 7 D 401/04

A 0 1 N 43/58 C

A 0 1 P 13/00

【誤訳訂正書】

【提出日】平成28年11月1日 (2016.11.1)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

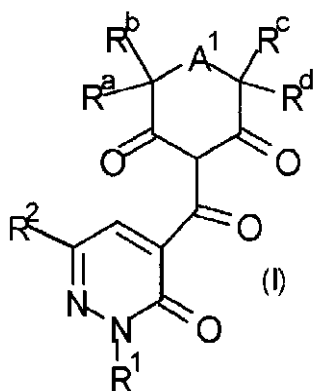
【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式 (I)

【化 1】



[式中、

R¹は、水素と、C₁～C₆アルキルと、C₁～C₆ハロアルキルと、C₁～C₃アルコキシ - C₁～C₃アルキルと、C₁～C₃アルコキシ - C₁～C₃アルコキシ - C₁～C₃アルキルと、C₁～C₃アルコキシ - C₁～C₃ハロアルキルと、C₁～C₃アルコキシ - C₁～C₃アルコキシ - C₁～C₃ハロアルキルと、C₄～C₆ - オキサ置換シクロアルコキシ - C₁～C₃ - アルキルと、C₄～C₆ - オキサ置換シクロアルキル - C₁～C₃ - アルコキシ - C₁～C₃ - アル

キルと、 $C_4 \sim C_6$ - オキサ置換シクロアルコキシ - $C_1 \sim C_3$ - ハロアルキルと、 $C_4 \sim C_6$ - オキサ置換シクロアルキル - $C_1 \sim C_3$ - アルコキシ - $C_1 \sim C_3$ - ハロアルキルと、($C_1 \sim C_3$ アルカンスルホニル - $C_1 \sim C_3$ アルキルアミノ) - $C_1 \sim C_3$ アルキルと、($C_1 \sim C_3$ アルカンスルホニル - $C_3 \sim C_4$ シクロアルキルアミノ) - $C_1 \sim C_3$ アルキルと、 $C_1 \sim C_6$ アルキルカルボニル - $C_1 \sim C_3$ アルキルと、 $C_3 \sim C_6$ シクロアルキル - $C_2 \sim C_6$ アルケニルと、 $C_2 \sim C_6$ アルキニルと、 $C_2 \sim C_6$ アルケニルと、 $C_2 \sim C_6$ ハロアルケニルと、シアノ - $C_1 \sim C_6$ - アルキルと、アリールカルボニル - $C_1 \sim C_3$ - アルキル(ただし、前記アリールは任意選択でハロ、 $C_1 \sim C_3$ - アルコキシ、 $C_1 \sim C_3$ - アルキル、 $C_1 \sim C_3$ - ハロアルキルからなる群の中の1個または複数個の置換基で置換されてもよい)と、アリール - $C_1 \sim C_6$ アルキルと、アリールオキシ - $C_1 \sim C_6$ アルキル(ただし、両方のケースにおいて前記アリールは任意選択でハロ、 $C_1 \sim C_3$ - アルコキシ、 $C_1 \sim C_3$ - アルキル、 $C_1 \sim C_3$ - ハロアルキルからなる群の中の1個または複数個の置換基で置換されてもよい)と、芳香族でも飽和でも部分飽和でもよく、かつそれぞれ独立して窒素、酸素、および硫黄からなる群から選択される1~4個のヘテロ原子を含有することができる3~10員単環または二環系であって、前記環系が、任意選択で $C_1 \sim C_3$ アルキル、 $C_1 \sim C_3$ ハロアルキル、 $C_1 \sim C_3$ アルケニル、 $C_1 \sim C_3$ アルキニル、 $C_1 \sim C_3$ アルコキシ、 $C_1 \sim C_3$ ハロアルコキシ、 $C_1 \sim C_6$ アルキル - S(O)p - 、 $C_1 \sim C_6$ ハロアルキル - S(O)p - 、アリール、アリール - S(O)p - 、ヘテロアリール - S(O)p - 、アリールオキシ、ヘテロアリールオキシ、 $C_1 \sim C_3$ アルコキシカルボニル、 $C_1 \sim C_3$ アルキルアミノ - S(O)p - 、 $C_1 \sim C_3$ アルキルアミノ - S(O)p - $C_1 \sim C_3$ アルキル、 $C_1 \sim C_3$ ジアルキルアミノ - S(O)p - 、 $C_1 \sim C_3$ ジアルキルアミノ - S(O)p - $C_1 \sim C_3$ アルキル、 $C_1 \sim C_3$ アルキルアミノカルボニル - 、 $C_1 \sim C_3$ アルキルアミノカルボニル - $C_1 \sim C_3$ アルキル、 $C_1 \sim C_3$ ジアルキルアミノカルボニル、 $C_1 \sim C_3$ ジアルキルアミノカルボニル - $C_1 \sim C_3$ アルキル、 $C_1 \sim C_3$ アルキルカルボニルアミノ、 $C_1 \sim C_3$ アルキル - S(O)p - アミノ、シアノ、およびニトロからなる群から選択される1個または複数個の置換基によって置換され、前記ヘテロアリール置換基が、酸素、窒素、および硫黄からなる群からそれぞれ独立して選択される1~3個のヘテロ原子を含有し、かつ前記アリールまたはヘテロアリール成分が、任意選択でハロ、 $C_1 \sim C_3$ アルキル、 $C_1 \sim C_3$ ハロアルキル、 $C_1 \sim C_3$ アルコキシ、 $C_1 \sim C_3$ ハロアルコキシ、フェニル、シアノ、およびニトロからなる群から選択される1個または複数個の置換基によって置換されてもよい、3~10員単環または二環系とからなる群から選択され、

R^2 は、水素、ハロゲン、シアノ、ニトロ、 $C_1 \sim C_6$ アルキル、 $C_3 \sim C_6$ シクロアルキル、 $C_2 \sim C_6$ アルケニル、 $C_2 \sim C_6$ アルキニル、 $C_1 \sim C_6$ ハロアルキル、 $C_1 \sim C_6$ アルコキシ、 $C_1 \sim C_3$ ハロアルコキシ、 $C_1 \sim C_6$ アルコキシ - $C_1 \sim C_3$ アルキル、 $C_1 \sim C_6$ アルキル - S(O)p - 、および $C_1 \sim C_6$ ハロアルキル - S(O)p - からなる群から選択され、

$p = 0, 1$ 、または2、

A^1 は、O、C(O)、および(CR^eR^f)からなる群から選択され、

R^a 、 R^b 、 R^c 、 R^d 、 R^e および R^f は、それぞれ独立して水素および $C_1 \sim C_4$ アルキルからなる群から選択され、 R^a および R^c は一緒になって $C_1 \sim C_3$ アルキレン鎖を形成してもよい]

の除草性化合物または前記化合物の農学的に許容できる塩。

【請求項2】

R^1 が、水素、 $C_1 \sim C_6$ アルキル、 $C_1 \sim C_6$ ハロアルキル、 $C_1 \sim C_3$ アルコキシ - $C_1 \sim C_3$ アルキル、 $C_1 \sim C_3$ アルコキシ - $C_2 \sim C_3$ アルコキシ - $C_1 \sim C_3$ アルキル、 $C_1 \sim C_6$ ハロアルキル、 $C_2 \sim C_6$ ハロアルケニル、 $C_1 \sim C_3$ アルコキシ - $C_1 \sim C_3$ ハロアルキル、アリール、5員または6員ヘテロアリール、5員または6員ヘテロアリール - $C_1 \sim C_3$ アルキル、およびヘテロシクリル - $C_1 \sim C_3$ アルキルからなる群から選択され、前記ヘテロアリールまたはヘテロシクリルが、それぞれ独立して酸素、窒素、および硫黄からなる群から選択される1個~3個のヘテロ原子を含有し、かつ前記アリール、ヘテロシクリル、

またはヘテロアリール成分が、任意選択でハロ、 $C_1 \sim C_3$ -アルキル、 $C_1 \sim C_3$ -ハロアルキル、 $C_1 \sim C_3$ -アルコキシ、シアノ、およびニトロからなる群から選択される１個または複数個の置換基で置換されてもよい、請求項１に記載の除草性化合物。

【請求項３】

R^1 が、アリール、５員または６員ヘテロアリール、および５員または６員ヘテロアリール- $C_1 \sim C_3$ アルキルからなる群から選択され、前記ヘテロアリールが、それぞれ独立して酸素、窒素、および硫黄からなる群から選択される１個～３個のヘテロ原子を含有し、かつ前記アリールまたはヘテロアリール成分が、任意選択でハロ、 $C_1 \sim C_3$ -アルキル、 $C_1 \sim C_3$ -ハロアルキル、 $C_1 \sim C_3$ -アルコキシ、シアノ、およびニトロからなる群から選択される１個または複数個の置換基で置換されてもよい、請求項１又は２に記載の除草性化合物。

【請求項４】

R^2 が水素またはメチルである、請求項１～３のいずれか一項に記載の除草性化合物。

【請求項５】

請求項１～４のいずれか一項に記載の除草性化合物と、農学的に許容できる製剤補助剤とを含む、除草剤組成物。

【請求項６】

少なくとも１種類の追加の農薬をさらに含む、請求項５に記載の除草剤組成物。

【請求項７】

前記追加の農薬が、除草剤または除草剤毒性緩和剤である、請求項６に記載の除草剤組成物。

【請求項８】

現場に請求項５～７のいずれか一項に記載の組成物の雑草駆除量を散布することを含む、前記現場で雑草を駆除する方法。

【請求項９】

請求項１に記載の式（Ⅰ）の化合物の除草剤としての使用。

【誤訳訂正２】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】０００４

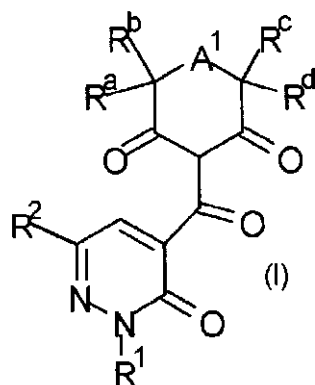
【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【０００４】

すなわち、本発明によれば式（Ⅰ）

【化１】



[式中、

R^1 は、水素と、 $C_1 \sim C_6$ アルキルと、 $C_1 \sim C_6$ ハロアルキルと、 $C_1 \sim C_3$ アルコキシ -

$C_1 \sim C_3$ アルキルと、 $C_1 \sim C_3$ アルコキシ - $C_1 \sim C_3$ アルコキシ - $C_1 \sim C_3$ アルキルと、 $C_1 \sim C_3$ アルコキシ - $C_1 \sim C_3$ ハロアルキルと、 $C_1 \sim C_3$ アルコキシ - $C_1 \sim C_3$ アルコキシ - $C_1 \sim C_3$ ハロアルキルと、 $C_4 \sim C_6$ - オキサ置換シクロアルコキシ - $C_1 \sim C_3$ - アルキルと、 $C_4 \sim C_6$ - オキサ置換シクロアルキル - $C_1 \sim C_3$ - アルコキシ - $C_1 \sim C_3$ - アルキルと、 $C_4 \sim C_6$ - オキサ置換シクロアルコキシ - $C_1 \sim C_3$ - ハロアルキルと、 $C_4 \sim C_6$ - オキサ置換シクロアルキル - $C_1 \sim C_3$ - アルコキシ - $C_1 \sim C_3$ - ハロアルキルと、($C_1 \sim C_3$ アルカンスルホニル - $C_1 \sim C_3$ アルキルアミノ) - $C_1 \sim C_3$ アルキルと、($C_1 \sim C_3$ アルカンスルホニル - $C_3 \sim C_4$ シクロアルキルアミノ) - $C_1 \sim C_3$ アルキル、 $C_1 \sim C_6$ アルキルカルボニル - $C_1 \sim C_3$ アルキルと、 $C_3 \sim C_6$ シクロアルキル - $C_2 \sim C_6$ アルケニルと、 $C_2 \sim C_6$ アルキニルと、 $C_2 \sim C_6$ アルケニルと、 $C_2 \sim C_6$ ハロアルケニルと、シアノ - $C_1 \sim C_6$ - アルキルと、アリールカルボニル - $C_1 \sim C_3$ - アルキル(ただし、このアリールは任意選択でハロ、 $C_1 \sim C_3$ - アルコキシ、 $C_1 \sim C_3$ - アルキル、 $C_1 \sim C_3$ - ハロアルキルからなる群の中の1個または複数個の置換基で置換されてもよい)と、アリール - $C_1 \sim C_6$ アルキルと、アリールオキシ - $C_1 \sim C_6$ アルキル(ただし、これら両方のケースにおいてそのアリールは任意選択でハロ、 $C_1 \sim C_3$ - アルコキシ、 $C_1 \sim C_3$ - アルキル、 $C_1 \sim C_3$ - ハロアルキルからなる群の中の1個または複数個の置換基で置換されてもよい)と、芳香族でも飽和でも部分飽和でもよく、かつそれぞれ独立して窒素、酸素、および硫黄からなる群から選択される1~4個のヘテロ原子を含有することができる3~10員単環または二環系(この環系は、任意選択で $C_1 \sim C_3$ アルキル、 $C_1 \sim C_3$ ハロアルキル、 $C_1 \sim C_3$ アルケニル、 $C_1 \sim C_3$ アルキニル、 $C_1 \sim C_3$ アルコキシ、 $C_1 \sim C_3$ ハロアルコキシ、 $C_1 \sim C_6$ アルキル - S(O)p - 、 $C_1 \sim C_6$ ハロアルキル - S(O)p - 、アリール、アリール - S(O)p - 、ヘテロアリール - S(O)p - 、アリールオキシ、ヘテロアリールオキシ、 $C_1 \sim C_3$ アルコキシカルボニル、 $C_1 \sim C_3$ アルキルアミノ - S(O)p - 、 $C_1 \sim C_3$ アルキルアミノ - S(O)p - $C_1 \sim C_3$ アルキル、 $C_1 \sim C_3$ ジアルキルアミノ - S(O)p - 、 $C_1 \sim C_3$ ジアルキルアミノ - S(O)p - $C_1 \sim C_3$ アルキル、 $C_1 \sim C_3$ アルキルアミノカルボニル - 、 $C_1 \sim C_3$ アルキルアミノカルボニル - $C_1 \sim C_3$ アルキル、 $C_1 \sim C_3$ ジアルキルアミノカルボニル、 $C_1 \sim C_3$ ジアルキルアミノカルボニル - $C_1 \sim C_3$ アルキル、 $C_1 \sim C_3$ アルキルカルボニルアミノ、 $C_1 \sim C_3$ アルキル - S(O)p - アミノ、シアノ、およびニトロからなる群から選択される1個または複数個の置換基によって置換され、このヘテロアリール置換基は、酸素、窒素、および硫黄からなる群からそれぞれ独立して選択される1~3個のヘテロ原子を含有し、かつこのアリールまたはヘテロアリール成分は、任意選択でハロ、 $C_1 \sim C_3$ アルキル、 $C_1 \sim C_3$ ハロアルキル、 $C_1 \sim C_3$ アルコキシ、 $C_1 \sim C_3$ ハロアルコキシ、フェニル、シアノ、およびニトロからなる群から選択される1個または複数個の置換基によって置換されてもよい)とからなる群から選択され、

R^2 は、水素、ハロゲン、シアノ、ニトロ、 $C_1 \sim C_6$ アルキル、 $C_3 \sim C_6$ シクロアルキル、 $C_2 \sim C_6$ アルケニル、 $C_2 \sim C_6$ アルキニル、 $C_1 \sim C_6$ ハロアルキル、 $C_1 \sim C_6$ アルコキシ、 $C_1 \sim C_3$ ハロアルコキシ、 $C_1 \sim C_6$ アルコキシ - $C_1 \sim C_3$ アルキル、 $C_1 \sim C_6$ アルキル - S(O)p - 、および $C_1 \sim C_6$ ハロアルキル - S(O)p - からなる群から選択され、

$p = 0$ 、1、または2、

A^1 は、O、C(O)、および(CR^eR^f)からなる群から選択され、

R^a 、 R^b 、 R^c 、 R^d 、 R^e および R^f は、それぞれ独立して水素および $C_1 \sim C_4$ アルキルからなる群から選択され、 R^a および R^c は一緒になって $C_1 \sim C_3$ アルキレン鎖を形成してもよい]

の除草性化合物または前記化合物の農学的に許容できる塩が提供される。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0028

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 2 8 】

別の実施形態では A^1 が $C R^e R^f$ であり、また R^a 、 R^b 、 R^c 、 R^d 、 R^e および R^f が水素である。本発明の別の実施形態では A^1 が $C R^e R^f$ であり、 R^b 、 R^d 、 R^e および R^f が水素であり、 R^a および R^c が一緒になってエチレン鎖を形成する。